

令和2年度

北海道衛生検査所外部精度管理調査結果報告書

北海道保健福祉部



## 目次

I	北海道の衛生検査所の現状	1
II	北海道衛生検査所精度管理事業について	1
III	衛生検査所外部精度管理調査について	2
IV	令和2年度外部精度管理調査実施計画（要旨） 微生物学的検査	2
V	令和2年度外部精度管理調査実施概要	3
	微生物学的検査	4
	1. 調査方法	
	2. 評価方法	
	3. 調査結果	
	4. 評価とまとめ	
資料		
	別表 衛生検査所一覧（令和3年1月1日現在）	9
	北海道衛生検査所精度管理専門委員会設置要綱	1 1
	北海道衛生検査所精度管理専門委員名簿	1 2

## I 北海道の衛生検査所の現状

衛生検査所は、臨床検査技師等に関する法律第 20 条の 3 の規定に基づき、所在地の都道府県知事（または保健所設置市長）の登録を受けなければならないこととなっている。

北海道内においては、令和 3 年 1 月 1 日現在で 61 カ所の衛生検査所（うち札幌市 28 カ所(休止中 1 カ所含む)、旭川市 2 カ所、函館市 4 カ所、小樽市 2 カ所）が登録されており、名称及び所在地、登録検査業務を別表（P9～10）に示した。

### <臨床検査技師等に関する法律第 20 条の 3>

衛生検査所（検体検査を業として行う場所（病院、診療所、助産所又は厚生労働大臣が定める施設内の場所を除く。）をいう。以下同じ。）を開設しようとする者は、その衛生検査所について、厚生労働省令で定めるところにより、その衛生検査所の所在地の都道府県知事（その所在地が保健所を設置する市又は特別区の区域にある場合においては、市長又は区長。以下この章において同じ。）の登録を受けなければならない。

### <臨床検査技師等に関する法律施行規則第 1 条に規定する検体検査>

微生物学的検査、免疫学的検査、血液学的検査、病理学的検査、生化学的検査、尿・糞便等一般検査、遺伝子関連・染色体検査

## II 北海道衛生検査所精度管理事業について

北海道では、医療における衛生検査の重要性に鑑み、道内の衛生検査所の精度管理（検査の精度を適正に保つことをいう。以下同じ。）の向上を図るため、「北海道衛生検査所精度管理専門委員会」（現委員数 10 名）を設置して、計画的に各衛生検査所の立入検査を実施しているほか、衛生検査所に対する外部精度管理調査を実施している。

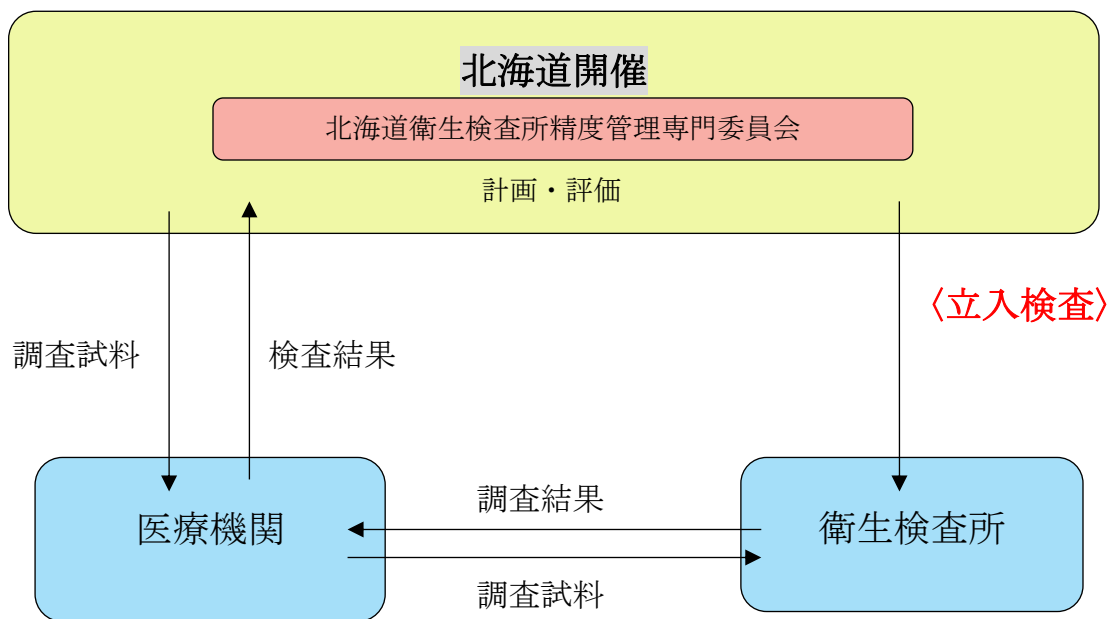
今年度は、以下のとおり事業を実施した。

令和 2 年 7 月～8 月	衛生検査所外部精度管理調査に係る事前調査実施
令和 2 年 10 月	令和 2 年度第 1 回北海道衛生検査所精度管理専門委員会(書面開催)
令和 2 年 11 月 30 日	衛生検査所外部精度管理調査（ブラインド調査）実施
令和 2 年 12 月 ～令和 3 年 1 月	衛生検査所立入検査実施（2 カ所）
令和 3 年 3 月	令和 2 年度第 2 回北海道衛生検査所精度管理専門委員会(書面開催)

### Ⅲ 衛生検査所外部精度管理調査について

北海道では、衛生検査所の外部精度管理調査として、「ブラインド調査」を実施しており、これらの調査結果は各衛生検査所に通知され、精度管理に役立てられるほか、北海道や保健所設置市が実施する立入検査において、調査結果を基に検査精度向上のための指導を実施している。

なお、ブラインド調査とは、下図のとおり、衛生検査所に調査試料であることがわからないように、協力医療機関（調査試料の配布に協力いただく病院や診療所等）から、通常依頼している検体に混ぜて調査試料の検査を依頼し、衛生検査所の検査精度の調査を実施する方法である。



### Ⅳ 令和2年度 外部精度管理調査実施計画（要旨）

#### 微生物学的検査

##### a) 調査試料

模擬糞便試料（1試料）

##### b) 検査項目

試料からの細菌分離・同定および薬剤感受性試験

##### c) 予備試験

調査に先立ち、供試菌株を収集し、細菌学的性状試験及び事前模擬試験を実施する。

##### ア) 菌株性状試験の実施

供試菌株を収集し、菌株の生化学的性状、血清型別試験を実施、必要に応じ毒素

産生性試験並びに病原因子の確認試験を実施する。汎用されている簡易同定キットによる同定試験も併せて実施する。

イ) 模擬事前試験の実施

事前に調査と同様な一連の作業を実施し、調整試料の適否、状況等を把握する。

d) 配布試料の確認試験

試料配布後、衛生研究所において試料の状況を確認する。試料調整直後から調整1週間後まで配付試料が安定していることを確認する。

## V 令和2年度 外部精度管理調査実施概要

北海道衛生検査所精度管理専門委員会において決定された実施計画に基づき、外部精度管理調査を実施した。協力医療機関を経由して調査試料を配布し、後日、検査結果報告書を収集した。

道の調査に対し実際に検査を行っているところがあった札幌市3カ所、函館市1カ所の衛生検査所を対象に実施した。

調査方法、評価方法及び調査結果の詳細は、次頁以降に示したとおりである。

(担当：北海道保健福祉部地域医療推進局医務薬務課)

## ●微生物学的検査

### 1 調査方法

#### (1) 調査対象施設及びモニター機関

北海道内で微生物学的検査を登録している衛生検査所のうち、4施設を調査対象とした。またモニター機関として、北海道立衛生研究所（以下、道衛研）および公的医療機関（北海道大学病院、札幌医科大学附属病院、市立札幌病院）で同じ検体の確認検査を実施した。

#### (2) 試料

道衛研で保存している2種類の菌株を継代培養後、滅菌調製した糞便（水様便）に対象菌を添加した。添加した菌は次の通りである。

【試料】 *Salmonella enterica* subspecies *enterica* serovar Montevideo（患者由来株、抗原構造 07 : g, m, s : -、リジン脱炭酸陰性、硫化水素を産生しない非典型的なタイプ）、*Escherichia coli*（非下痢原性大腸菌、健常者由来株、各種病原遺伝子保有せず。ST、LT、VT 産生せず。）

#### (3) 実施方法

協力医療機関から予め糞便試料輸送容器を道衛研に送付してもらい、輸送容器に(2)で調製した試料を入れた。試料は、協力医療機関へ送り、協力医療機関からの検査依頼という形式で、対象となる衛生検査所へ配付した。検査終了後は検査結果報告書を協力医療機関から収集した。

### 2 評価方法

ブラインド調査における評価基準を表1に示した。評価については、協力医療機関から収集した検査結果報告書に基づいて総合的に行った。分離・同定検査については、下痢症の起因菌を正しく分離・同定し報告していることを評価対象とした。血清学的検査が行われている場合には、その結果が適切に報告されているかどうかを評価対象とした。薬剤感受性試験については、それぞれの協力医療機関から発注された感受性試験の薬剤が、延べ37種類あった。モニター機関では延べ30種類の薬剤について実施していた。これら薬剤の中で評価対象としたものは、4カ所のモニター機関のうち3カ所以上で検査を実施していた、12薬剤である。判定については、モニター機関の結果が一致している場合、これと異なる結果を誤判定とした。また、中間耐性（I）の判定については、許容正解とした。

### 3 調査結果

【試料】 *Salmonella enterica* subspecies *enterica* serovar Montevideo (抗原構造 07 : g, m, s : -)、*Escherichia coli* (非下痢原性大腸菌)

分離・同定の報告結果を表 2 に示した。本試料については、調査対象 4 施設のうち 3 施設 (B1、B2、B4) では、下痢症起因菌としてサルモネラ属菌が適切に検出・報告されていた。また、非下痢原性大腸菌についても、下痢症起因菌としての報告はされず、適切に対処されていた。

調査対象施設 B3 では、下痢症起因菌としてサルモネラ属菌が検出・報告されなかった。非下痢原性大腸菌については、下痢症起因菌としての報告はされず、適切に対処されていた。

薬剤感受性試験の報告結果を表 3 に示した。サルモネラ属菌 (下痢症起因菌) を適切に報告した 3 施設 (B1、B2、B4) で行われており、評価した 12 種の薬剤のうち、各施設で検査された該当薬剤について正しく判定されていた。サルモネラ属菌 (下痢症起因菌) を報告しなかった調査対象施設 B3 では、薬剤感受性試験が実施されなかった。

### 4 評価とまとめ

#### 〈分離・同定報告結果〉

試料に添加した 2 種類の供試菌、*Salmonella enterica* subspecies *enterica* serovar Montevideo (以下、*S. Montevideo*) と非下痢原性大腸菌は、いずれも一般的な選択分離培地を用いた一夜培養で十分な発育を示す。例えば、DHL 培地を用いた場合、*S. Montevideo* は培地色集落、非下痢原性大腸菌は赤色集落を形成し、容易に区別可能である。今回供試した *S. Montevideo* は、リジン脱炭酸陰性、硫化水素を産生しない非典型的なタイプであるが、一般的な同定検査によりサルモネラ属菌と同定可能な菌株である。なお、道衛研による検査では、試料調製直後から調製 1 週間後まで *S. Montevideo* と非下痢原性大腸菌がバランス良く分離され、変異等もなく同定されたことから、ブラインド調査の実施期間中に配付試料は安定していたことが確認された。また、他のモニター機関 3 施設においても配付試料からサルモネラ属菌と非下痢原性大腸菌が分離・同定されたことから、配布試料の安定性に問題はなかったと考えられた。

調査対象 4 施設のうち 1 施設 (B3) では、下痢症起因菌としてサルモネラ属菌が検出・報告されなかった。配付試料の安定性や適否については、前述のとおりモニター機関による検査によって確認されているため、当該施設に送付された試料に問題があったとは考えにくい。従って、サルモネラ属菌 (下痢症起因菌) が報告されなかった原因としては、1) 検体の取り違い (検査開始時または検査終了後の入力時)、2) 検査結果の入力ミス、3) 分離・同定検査上の問題、といった可能性が考えられる。今回の供試菌 *S. Montevideo* は、糖分解を指標とした一般的な分離培地上において、赤痢菌やチフス菌、パラチフス A 菌といった、細菌感染症において非常に重要な位置づけにある病原菌に類似した集落を形成する。従って、分離・同定検査において見落としがあったのであれば、医療及び公衆衛生上、



重大な問題である。また、検体の取り違えや検査結果の入力ミスの場合でも、患者に対する適切な治療や行政対応がなされない可能性があることから、いずれの場合でも、当該施設では検査体制の見直しを視野に入れた適切な対応が求められる。

調査対象 4 施設のうち 3 施設（B1、B2、B4）では、分離・同定検査に係る評価基準に基づく適切な結果が報告されており、高い評価が得られた。引き続き適切な検査体制の維持が望まれる。

#### <薬剤感受性試験報告結果>

調査対象 4 施設のうち、サルモネラ属菌（下痢症起因菌）を適切に報告した 3 施設（B1、B2、B4）から薬剤感受性試験に係る評価基準に基づく適切な結果が報告されており、高い評価が得られた。引き続き適切な検査体制の維持が望まれる。

サルモネラ属菌（下痢症起因菌）を報告しなかった調査対象施設 B3 では、薬剤感受性試験が実施されなかったため、今回は評価対象外とした。

（担当：北海道立衛生研究所感染症センター感染症部細菌グループ）

表 1 微生物学的検査の評価基準

調査項目	評価基準
ブラインド調査	医療機関から提出された検査結果報告書で行う。
試料 : 模擬下痢便 下痢症起因菌の分離・同定及び薬剤感受性試験	下痢症起因菌としてサルモネラ属菌が分離・同定されていること。 血清学的検査を行った場合は、適切に結果報告がされていること。 <i>Escherichia coli</i> を下痢症起因菌として報告しないこと。 評価対象となる薬剤におけるモニター機関の結果との比較。

表 2 細菌同定結果

検査機関	試料
	<i>Salmonella enterica</i> subspecies <i>enterica</i> serovar Montevideo 抗原構造 07 : g, m, s : - <i>Escherichia coli</i> (非下痢原性大腸菌)
調査対象施設	B1 Salmonella sp. (07 群) 検査項目欄コメント : MRSA ( - ) クロストリジウムディフィシル ( - ) 酵母真菌 ( - )
	B2 Salmonella serogroup 07 常 Escherichia coli 大腸菌ベロトキシン検査は陰性です。 嫌気性培養同定検査は、菌の発育認めず。 目的菌欄コメント : キャンピロバクター属 ( - ) ベロトキシン ( - )
	B3 Clostridium difficile の発育を認めず 病原性菌の発育を認めず
	B4 Salmonella sp. 血清型 07 群 E. coli 血清型 0 抗原陰性 目的菌欄コメント : 赤痢菌 ( - ) サルモネラ菌 ( + ) ビブリオ菌 ( - ) 嫌気性菌 ( - )
モニター機関	R1 <i>Salmonella enterica</i> subspecies <i>enterica</i> serovar Montevideo 抗原構造 07 : g, m, s : - <i>Escherichia coli</i> (非下痢原性大腸菌)
	R2 <i>Salmonella enterica</i> subspecies <i>enterica</i> serovar Montevideo : 07 群 ( + ), H 群 1 相 H-m, H-G, H-s ( + ), 2 相 ( - ) <i>Escherichia coli</i> ベロ毒素 ( - ) 病原大腸菌免疫血清 ( - )
	R3 Salmonella sp. (07 群) (O 血清) 07 群 (H 血清) H-G <i>Escherichia coli</i> (O 血清) 型別不能 (ベロ毒素) VT1( - ), VT2( - )
	R4 Salmonella spp. 07 群 H-G <i>Escherichia coli</i> ベロトキシン陰性

表3 薬剤感受性試験結果（下痢症起因菌：サルモネラ属菌のみ）

施設 薬剤	調査対象施設				モニター機関			
	B1	B2	B3	B4	R1	R2	R3	R4
ABPC				S	S	S	S	S
AZT				S	S	S	S	
CAZ		S			S	S	S	
CFPM	S	S		S	S	S	S	
CTX				S	S	S	S	
FOM				S	S	S	S	
MEPM	S	S		S	S	S	S	
MINO	S	S		S	S	S	S	
PIPC/TAZ	S	S			S	S	S	
SBT/ABPC	S	S		S	S	S	S	
ST	S				S	S	S	S
CPFX	S	S			S	S		S

S；感受性、R；耐性、I；中間耐性

ABPC:アンピシリン、AZT:アズトレオナム、CAZ:セフトジジム、CFPM:セフェピム、CTX:セフォタキシム、FOM:ホスホマイシン、MEPM:メロペネム、MINO:ミノサイクリン、PIPC/TAZ:ピペラシリン/タゾバクタム、SBT/ABPC:スルバクタム/アンピシリン、ST:スルファメトキサゾール/トリメトプリム、CPFX:シプロフロキサシン

# 資 料

## 衛生検査所名簿（令和3年1月1日現在）

○登録検査業務（新分類）※

	検査所名	所在地	登録年月日	登録検査業務（新分類）														血清分離のみ					
				微生物		免疫学		血液学			病理学			生化学			尿・糞便等一般			遺伝子関連・染色体			
				細菌培養同定	薬剤感受性	免疫血清	免疫血液	血球算定・血球凝集形勢	血栓・止血関連	細胞性免疫	病理組織	免疫組織化学	細胞	分子病理学	生化学	免疫化学	血中薬物濃度		尿・糞便等	寄生虫	病原体核酸	体細胞遺伝子	生細胞系別
1	株式会社 BMLフード・サイエンス札幌事業所札幌検査室	札幌市中央区北3条西1丁目1番10号	H18.9.5	○																○			
2	株式会社モルフォテクノロジー	札幌市東区北35条東1丁目1-17	H20.5.13									○	○									○	
3	株式会社ジェネティックラボ 病理解析センター	札幌市中央区北9条西1丁目2番地196	H22.8.5								○	○	○	○								○	○
4	(株) 中部衛生検査センター札幌検査所	札幌市白石区菊水4条1丁目7番13号	R1.9.18	○																			○
5	北海道大学 遺伝子病制御研究所	札幌市北区北15条西7丁目	R2.6.19																				○
6	株式会社ANTHELISS	札幌市北区北21条西1丁目2	R2.8.28																				○
7	SB新型コロナウイルス検査センター株式会社 北海道PCR検査センター	札幌市北区あいの里2条5丁目1-2	R2.11.26																				○
8	公益社団法人函館市医師会函館市医師会健診検査センター	函館市田家5番16号	H30.12.30	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	室蘭市医師会 臨床検査センター	室蘭市東町4丁目20-6	S58.12.27					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	第一岸本臨床検査センター 苫小牧	苫小牧市日吉町2丁目3-9	H23.4.1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	札幌臨床検査センター(株) 千歳営業所	千歳市末広町6丁目4-4アルファ千歳ビル2階	H31.3.28					○	○					○	○								

○登録検査業務（旧分類）※

	検査所名	所在地	登録年月日	登録検査業務（旧分類）																			血清分離のみ	
				微生物		血清学			血液学			病理学				寄生虫		生化学						
				細菌培養同定	薬剤感受性	病原体遺伝子	血清学	免疫学	血球算定	血液像	出血・凝固	細胞性免疫	染色体	生細胞系別	体細胞遺伝子	病理組織	免疫組織化学	細胞	分子病理学	体細胞遺伝子	寄生虫	生化学		尿・糞便等一般
1	株式会社LSIメディア エンジン 札幌ラボラトリー	札幌市中央区大通西7丁目1番1号	H24.2.13																					○
2	株式会社 札幌病理検査センター	札幌市中央区大通西14丁目1番地13	H23.5.9													○		○						
3	株式会社札幌総合病理研究所	札幌市中央区南12条西18丁目3番17号	S63.8.29														○	○	○					
4	エスアールエル 北海道ラボラトリー	札幌市中央区南19条西13丁目2-25	H18.4.3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							○	○	○
5	札幌臨床検査センター(株) 北3条分室	札幌市中央区北3条西20丁目2-5	H23.10.3											○	○									
6	OMリサーチ&コンサルティング株式会社	札幌市中央区北3条東2丁目2番22	H24.4.18																				○	
7	エスアールエル札幌ステーションラボラトリー	札幌市中央区北5条西2丁目	H18.4.3				○	○	○	○	○	○										○	○	○
8	札幌臨床検査センター	札幌市中央区北5条西18丁目9番地1	H2.1.4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	第一岸本臨床検査センター 新川	札幌市北区新川2条2丁目12-20	H23.3.22			○																		
10	公益社団法人 勤医協臨床検査研究所	札幌市東区東苗穂5条1丁目8番3号	H25.4.26													○	○	○						
11	第一岸本臨床検査センター 札幌	札幌市東区伏古7条3丁目5番10号	H24.2.13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							○	○	○
12	株式会社C.C.P未来基盤解析センター	札幌市東区北13条東4丁目1番36号	S56.7.31													○		○						
13	一般社団法人北海道臨床衛生検査技師会立衛生検査所	札幌市東区北19条東1丁目3番8号	H7.12.4				○																	
14	株式会社 北海道セントラルパナロロジーラボラトリー <b>(休止中)</b>	札幌市東区北20条東1丁目5番1号	H11.7.15											○		○								
15	保健科学札幌ラボラトリー	札幌市東区北22条東7丁目1番25号	H16.3.9				○	○	○	○	○	○											○	○
16	PCL 札幌病理・細胞診センター	札幌市厚別区下野幌テクノパーク 2丁目6-12	H7.6.7													○		○						
17	一般財団法人北海道薬剤師会公衆衛生検査センター	札幌市豊平区平岸1条8丁目6番6号	H20.11.28	○																		○		
18	株式会社 エンバイロサービス	札幌市中央区北5条西12丁目2番地 ベルクス北5ビル	H29.8.31	○																				

	検査所名	所在地	登録年月日	登録検査業務（旧分類）																						
				微生物			血清学		血液学					病理学			寄生虫	生化学		血清分離のみ						
				細菌培養同定	薬剤感受性	病原検体遺伝子	血清学	免疫学	血球算定	血液像	出血・凝固	細胞免疫	染色体	生細胞遺伝子	免疫細胞遺伝子	病理組織	免疫組織化学	細胞	分子病理学		体細胞遺伝子	寄生虫	生化学	尿・糞便等一般		
19	株式会社 CRL	札幌市清田区清田7条1丁目12番21号	H25.4.16																							
20	セルテックノロジーラボラトリー	札幌市手稲区金山1条1丁目8-7	H30.2.2																							
21	北海道システム・サイエンス株式会社	札幌市北区新川西2条1丁目2番1号	H28.1.18																							
22	札幌臨床検査センター株式会社道南営業所	函館市道南1丁目31番1号	H6.10.21	○	○		○	○	○	○	○	○													○	○
23	保健科学学館ラボラトリー	函館市日吉町1丁目19番6号	H18.7.13																							○
24	第一岸本臨床検査センター函館	函館市八幡町3番12号	H24.3.1	○	○		○	○	○	○	○														○	○
25	札幌臨床検査センター株式会社小樽営業所	小樽市福穂5丁目9番4号	H27.11.2				○	○	○	○	○														○	○
26	BML小樽	小樽市富岡1丁目5番15号	H8.1.4				○	○	○	○	○														○	○
27	札幌臨床検査センター株式会社道北支店	旭川市10条通22丁目2-1, 2-2, 2-3, 2-20	H5.3.19				○	○	○	○	○	○													○	○
28	第一岸本臨床検査センター旭川	旭川市金星町1丁目1番50号	H24.3.1				○	○	○	○	○	○												○	○	○
29	札幌臨床検査センター(株) 苫小牧支店	苫小牧市錦町1-1-4	H23.3.18				○	○	○	○	○														○	○
30	札幌臨床検査センター(株) 室蘭営業所	室蘭市中島町3丁目28番16号	H24.4.16				○	○	○	○	○														○	○
31	第一岸本臨床検査センター 静内	日高郡新ひだか町静内旭町2丁目8-3	H23.4.1				○	○	○	○	○														○	○
32	札幌臨床検査センター新ひだか営業所	日高郡新ひだか町静内緑町7丁目1-26	H24.2.20				○	○	○	○	○														○	○
33	第一岸本臨床検査センター 恵庭	恵庭市恵み野北3-1-1 恵庭RBPセンタービルE-201	H23.4.1				○	○	○	○	○														○	○
34	第一岸本臨床検査センター 岩見沢	岩見沢市美園5条5丁目2-2	H23.4.1				○	○	○	○	○														○	○
35	株式会社岩見沢メディカルラボラトリー	岩見沢市7条東4丁目8番地8	H18.11.1				○	○	○	○	○														○	○
36	札幌臨床検査センター株式会社 岩見沢営業所	岩見沢市1条西7丁目2番2号	H30.7.20				○	○	○	○	○														○	○
37	第一岸本臨床検査センター 滝川	滝川市西町2-2-50	H24.3.1				○	○	○	○	○														○	○
38	札幌臨床検査センター(株)滝川営業所	滝川市本町2丁目3番5号TSビル2階	H26.12.1				○	○	○	○	○														○	○
39	第一岸本臨床検査センター 名寄	名寄市西1条南6丁目第一火災ビル1階	H27.7.1																						○	
40	第一岸本臨床検査センター 後志	岩内郡若内町字東山133-10	H24.3.1				○	○	○	○	○														○	○
41	第一岸本臨床検査センター 稚内	稚内市港1丁目2-3 郡ビル2F	H24.3.1				○	○	○	○	○														○	○
42	第一岸本臨床検査センター 北見	北見市美芳町8-2-2	H24.3.1				○	○	○	○	○														○	○
43	札幌臨床検査センター(株) 北見営業所	北見市本町5丁目1-30 パークアンドネスト1F	H11.3.26																							○
44	保健科学 北見ラボラトリー	北見市常盤町3-4-15	H13.5.7				○	○	○	○	○														○	○
45	第一岸本臨床検査センター 帯広	帯広市西19条北1丁目1-13	H23.6.1	○			○	○	○	○	○														○	○
46	株式会社帯広臨床検査センター	帯広市東2条南17丁目7-1	H24.11.23				○	○	○	○	○														○	○
47	有限会社サンコスメディカルセンター	帯広市公園東町4-4-1	H3.5.22			○		○																	○	○
48	第一岸本臨床検査センター 釧路	釧路市常盤町2番5号	H29.3.17				○	○	○	○	○														○	○
49	保健科学 釧路ラボラトリー	釧路市鶴ヶ谷2丁目2番10号 メディカルモーションシロアム2F	H16.11.24				○	○	○	○	○														○	○
50	札幌臨床検査センター株式会社 釧路営業所	釧路市喜多町3番2号	H24.3.1	○	○		○	○	○	○	○														○	○

※ 臨床検査技師等に関する法律施行規則改正（平成30年12月1日施行）により、登録検査業務の分類が改正されました（新分類）。平成30年11月30日時点の登録検査所は、臨床検査技師等に関する法律第20条の4第1項の登録変更を受けるまでは、経過措置により従前の登録検査業務（旧分類）が適用されます。

## 北海道衛生検査所精度管理専門委員会設置要綱

### 第1 趣旨

医療における衛生検査の重要性にかんがみ、道内の衛生検査所の精度管理（検査の精度を適正に保つことをいう。以下同じ。）の向上を図るため、北海道衛生検査所精度管理専門委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

### 第2 所掌事項

委員会の検討・協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 立入検査の実施方針の策定及び実施施設の選考に関する事項
- (2) 立入検査結果に基づく、指導及び指示の内容に関する事項
- (3) 外部精度管理調査の実施方針の策定及び実施施設の選考に関する事項
- (4) 外部精度管理調査結果の解析及び評価に関する事項
- (5) 外部精度管理調査結果に基づく、指導及び指示の内容に関する事項
- (6) その他衛生検査所における精度管理の向上に関する事項

2 委員の職務は、次のとおり（委員会の開催時を除く。）とする。

- (1) 衛生検査所の立入検査に同行し、精度管理に関する指導・助言を行うこと。
- (2) 立入検査結果及び外部精度管理調査結果に基づく、指導及び指示の内容に関する事項について、知事の求めに応じ助言を行うこと。

### 第3 組織

委員会は、13名以内の委員で構成し、次の各号に掲げる者のうちから知事が委嘱する。

- (1) 医師で組織する団体が推薦する者
- (2) 臨床検査技師及び衛生検査技師で組織する団体が推薦する臨床検査技師及び衛生検査技師
- (3) 医育大学又はその附属病院等に勤務し、衛生検査に関し専門的知識を有する者
- (4) その他衛生検査の精度管理に関し相当の学識経験を有する者

2 委員会には委員長1名及び副委員長1名を置く。

3 委員長は委員の互選により選出し、副委員長は委員長が指名する。

4 委員の任期は2年とし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、再任をさまたげない。

### 第4 会議

委員会は、委員長が招集する。

2 委員長は、会議の議長となり、議事を整理する。

### 第5 庶務

委員会に関する庶務は、保健福祉部地域医療推進局医務薬務課において処理する。

### 第6 雑則

この要綱に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は別に定める。

## 北海道衛生検査所精度管理専門委員名簿

(五十音順)

氏 名	所 属 ・ 職 名
浅沼 康一	北海道公立大学法人札幌医科大学附属病院検査部 副部長
梅森 祥央	一般社団法人北海道臨床衛生検査技師会 常務理事 (札幌医科大学附属病院検査部 生化学検査係長)
◎ 北野 明宣	一般社団法人北海道医師会 常任理事
笹本 洋一	一般社団法人北海道医師会 常任理事
佐藤 進一郎	日本赤十字社北海道ブロック血液センター 品質部長
澁谷 斉	北海道大学病院 医療技術部長
竹内 徳男	北海道立衛生研究所長
中村 茂夫	市立札幌病院 検査部長
藤井 聡	国立大学法人旭川医科大学 臨床検査医学講座 教授
矢野 公一	札幌市保健福祉局 衛生研究所長事務取扱

(◎は委員長)



令和2年度 北海道衛生検査所外部精度管理調査結果報告書

---

令和3年3月29日発行

編 集 北海道立衛生研究所

発 行 北海道保健福祉部

〒060-8588

北海道札幌市中央区北3条西6丁目

電話 (011) 231-4111

内線 25-350

---